



TITLE:

聯合諸國ノ輸出入禁制ノ我國ニ及
ホス影響ニ就テ

AUTHOR(S):

戸田, 海市

CITATION:

戸田, 海市. 聯合諸國ノ輸出入禁制ノ我國ニ及ホス影響ニ就テ. 經濟論叢
1916, 3(1): 98-109

ISSUE DATE:

1916-07-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127046>

RIGHT:

京都帝國大學法學科大學

經濟論叢

大正五年七月一日發行

第一號

第三卷

論說

資本ノ概念

資本利子稅設定ノ氣運

支那近代ノ戸口ニ就テ(二)

續正貨蓄積論

戸田博士ノ不換紙幣論ヲ讀ミテ

保險本質論(二)

雜錄

經濟雜誌第四

聯合諸國輸出入禁制ノ我國ニ及ボス影響ニ就テ

對露輸出品代金ノ支拂決濟_{ニ就キテ}

經濟戰爭ト我貿易上ノ利害

現前ノ大戰爭ニ就テノ感想

乳兒死亡率ト出生率トノ關係

ラダレ『みる』學說ノ研究(二)

本多利明ノ經濟說_{ニ關シ本庄學士ノ教ヲ乞フ}

米國ニ於ケル移民教育機關

補習教育義務ノ可否

法學博士 河上 肇

法學博士 神戶 正雄

文學博士 內藤 虎次郎

法學博士 小川 郷太郎

法學博士 福田 德三

法學士 小島 昌太郎

法學博士 田島 錦治

法學博士 戸田 海市

法學博士 神戶 正雄

法學士 河田 嗣郎

文學士 米田 庄太郎

文學士 高田 保馬

商學士 大塚 金之助

法學博士 福田 德三

法學士 山本 美越乃

法學士 財部 靜治

(禁)

轉

(載)

聯合諸國ノ輸出入禁制ノ 我國ニ及ホス影響ニ就テ

戸田海市

歐洲戰爭ノ初マツテ以來我國ハ、聯合諸國ヲ援助スル爲メニ最善ノ努力ヲ爲シ、之カ爲メ有形無形ニ多大ノ犠牲ヲ拂ヒツツアルコトハ聯合諸國モ之ヲ認メサルヲ得マイ。我國ハ先ツ軍事上ニハ極東ニ於ケル獨逸ノ兵力ヲ一掃シ、其後引續キ我海軍ハ諸方面ニ出動シテ聯合國ノ爲メニ奔走シ、一面ニハ聯合國就中露國ニ對シテ兵器其他ノ軍需品ノ供給ニ力ヲ盡シツツアルノミナラス、更ニ進ンテ聯合側ノ非單獨講和ノ盟約ニ加入シ、飽クマテ之ト一致ノ態度ヲ採ルノ責任ヲ引受ケテ居ル。是レ決シテ日英同盟條約ヨリ

生スル當然ノ結果ヲハナイ。固ヨリ我官民ノ軍需品ノ生産供給ニ付テハ經濟上相當ノ利益ヲ得テ居ルガ、併シ此利益ハ我國カ中立ヲ守ツテ居ル場合ニモ生シ得ヘキモノデアツテ、世界ノ諸中立國ノ中ニハ我國ヨリモ遙カニ大ナル利益ヲ得テ居ルモノモアルノミナラス、元來一時的需用ノ性質ヲ有スルニ過キサル狹義ノ軍需品生産ニ對シテ力ヲ注クコトハ經濟上大ナル危險ヲ冒カスモノデアルガ、聯合諸國ニ對スル甚深ノ同情ハ我國民ヲシテ敢テ此危險ヲ冒サシメルノテアル。又現實ニ我國民カ軍需品生産ニ由テ得ル所ノ純益ハ之ヲ他ノ生産事業ノ純益ニ比シテ必シモ特ニ大ナリト云ヒ難キノミナラス、此種ノ經濟上ノ利益ヲ以テ之ヲ膠洲灣攻撃以來聯合國援助ノ爲メニ我陸海軍ノ費セシ所ト比較スレハ剩ス所少ナク、一面ニ我國ハ聯合諸國ニ對シテ財政上ニモ少ナカラサル援助ヲ爲シツツアル、露國ニ對シテハ既ニ五千萬圓ノ大藏省附券ヲ引受ケ、今後モ尙ホ相當ニ之ヲ引受クルコトヲ辭セサルノ意向ヲ有シ、又恐ラク其程度ニ之ヲ引

受クルノ已ムヲ得サルカ如キ狀態ニ在ルノミナラス、英佛ニ對シテモ滿期前ノ外債償還ヲ行フテ其財政ヲ助ケテ居ル、單ニ我財政上ノ利益ヨリ云ヘハ過去ニ於テモ又將來ニ於テモ獨逸ノ所有ニ屬スル我外債ヲ米國其他ノ市場ニ於テ購入償還スルコトカ、英佛債償還ヲ行フヨリモ有利ナ場合カ多イノデアルカ、我國ハ聯合國ヲ助クルカ爲メニ英佛債償還ヲ行フノデアル

以上ノ如ク我國ハ聯合國ヲ助ケテ獨逸ヲ壓ヘル爲メニハ金錢上評價シ難キ重大ノ責任ヲ負擔セルノミナラス、有形的ニモ相當ノ犧牲ヲ拂フテ聯合國ヲ援助シツツアル。故ニ聯合國モ亦我國ニ對シテハ中立國ト異レル特別ノ待遇ヲ爲スヘキ責任カアル。國際間ニ於ケル國盟又ハ協商ト云フカ如キ特別ノ親善關係ハ公平ナル利益ノ交換ヲ基礎トセサレハ安固ニ繼續スルヲ得ナイコトハ勿論デアアル。然ルニ英國ヲ初メ聯合諸國ノ我國ヲ遇スルコトハ往々ニシテ公平ヲ缺クノ嫌ナキヲ得ナイ。近來我國ニ於テ日英國盟ニ對スル反對說カ起リ、又戰後聯合國カ經濟同盟ヲ組

織シテ獨塊ヲ壓迫セントスル場合ニ我國ハ之ニ加入スルコトヲ拒絶スヘントノ議論力起ツテ居ルノハ必シモ理由ノナイコトハナイ。予輩ハ日英同盟ニモ賛成シ、又今後聯合側ニ於テ經濟同盟力成立セントスルトキハ公平ナル條件ヲ以テ之ニ加入スヘントノ意見ヲ有スル者アルガ(本誌前號參照)一面ニハ此親善關係ヲ維持スル爲メニ英國ヲ初メ聯合諸國ノ反省ヲ促カササルヲ得ナイ事柄カ少ナクナイ。特ニ昨今聯合諸國ノ輸出入ノ禁止制限ヲ我國ニ對シテ厲行スルニ付テハ大ニ其反省ヲ促カササルヲ得ナイ。固ヨリ我國ハ全力ヲ擧ケテ戰爭ニ從ヒツツアル友國ヲ援助シテ、勝利ヲ得セシメントスルモノテアル故、友國ノ戰爭遂行上ノ不利ヲモ顧ミス、之ニ對シテ妄リニ自己ノ利益ヲ主張スルノ意思ハ毛頭モナイ、只タ聯合國ノ經濟上及財政上ヨリ見テモ今日ノ如ク我國ニ對シテ輸出入ノ禁制ヲ厲行スルコトニ由リ、聯合國ノ爲メニ戰爭遂行上ノ利便ヲ生スルヨリモ、之ニ由テ我國ノ聯合國ヲ援助スルノ能力ヲ減殺スルノ不利カ寧ロ大トナ

ラサルヤハ疑問テアルノミナラス、此禁制ノ厲行ハ直接ニ聯合國援助ノ事業ニ從事シツツアル我商工業者ニ對シテ重大ノ損害ヲ加ヘル場合カ多ク、之カ爲メ自カラ聯合國ニ對スル同情ヲ冷却セシムルト云フ無形ノ重大ナル不利ヲ生スルヲ免レナイ。英國カ我國ニ對シテ鐵材機械類ノ輸出制限ヲ行フコトニ付キ、過日同國大使ヨリ特ニ丁重ナル説明ヲ我國民ニ與ヘラレ、今後英國ハ國內需用ノ切迫セルニ係ハラ最善ヲ盡シテ我國ニ此等ノ必要品ヲ供給スルノ意向ヲ有スルコトヲ明カニセラレタ。又同國ハ濠洲ノ羊毛ノ如キ原料品ニ付テモ今日マテ特ニ我國ノ爲メニ供給ノ便宜ヲ圖リ、一面ニハ日英條約ニ於テ無稅輸入ヲ協定セル數種ノ我國品ニ對シテハ、輸入禁止令ノ適用ヨリ之ヲ除外シテ居ル。此等ノ點ニ付テハ吾人ハ充分ニ同盟國ノ情誼ヲ認メネハナラス。世間ニハ英國カ我國ニ對シテ鐵材機械等ノ供給ヲ制限スルコトカ必要ノ度ヲ超ヘテ居ルト考ヘ、或ハ之ニ由テ英國カ戰時ニ發達セントシツツアル我工業及航海業ヲ抑壓セン

トスルノテハナイカト疑フ者モアルヤウテアルガ、併シ國ヲ擧ケテ戰爭ニ忙殺セラレツツアル聯合諸國ノ物資供給ノ實情ヲ明カニセス、妄リニ想像ヲ逞フシテ不平ヲ訴フルコトハ慎マテハナラス。予輩カ茲ニ本篇ヲ公ケニスルハ決シテ英國ヲ初メ一般聯合國官民ノ意思ニ疑問ヲ挾ムカ爲メテハナク、聯合諸國ト共ニ冷靜ニ我國ニ對スル輸出入禁止制限ノ適用力戰爭遂行ニ及ホス結果ノ如何及戰後ニ於テ永ク親善關係ヲ維持スル上ニ及ホス影響ノ如何ヲ研究セントスルノテアル

二

先ツ聯合諸國ノ輸出ノ禁止制限ニ付テ見ルニ、此制度ノ目的ニハ種々アルガ、其主ナルモノハ第一戰爭ニ直接ニ必要ナル物資ノ供給ヲ豊富ニスルコトテアル。第二ニハ此種ノ物資力敵國ノ手ニ渡ツテ其戰鬪力ヲ強ムルノ危險ヲ防クコトテアル。第三ニハ國民ノ生計上又ハ産業上最モ必要トスル貨物カ甚シク缺乏シテ其價格ノ暴騰スルコトヲ防ク目的ヲ以テ此制度ヲ行フ場合モ

アル。平時ニ於テ原料機械等ノ生産の貨物ノ輸出ヲ禁止シ、又ハ輸出税ヲ課シテ其輸出ヲ制限スルコトハ、之ヲ使用シテ生産ヲ營ム所ノ國內産業ヲ保護シテ外國ノ競争業ヲ抑壓スルノ一方法トナルカ如ク、戰時ニ於ケル禁輸制度モ同様ノ効果ヲ生スル場合カアリ得ル。目下聯合諸國ノ行ヒツツアル輸出禁止ノ中ニハ果シテ産業保護ノ目的ヲ以テセルモノアリヤ、又他ノ目的ヲ以テセル禁輸ニシテ實際ニ保護ノ結果ヲ生シツツアル場合アリヤ否ヤヲ明ニスルコトハ甚タ難事テアル。凡テノ制度ハ其直接ニ目的トスル所ノ效果ヲ生スルト同時ニ、意外ナル間接ノ影響ヲ生シ易キモノテアルガ、戰時ニ於ケル禁輸制度ニモ同様ノ現象ノ伴フコトヲ免レナイテアラウ。例ヘハ平素多額ノ原料用絹織物即チ生地羽二重ノ如キモノヲ輸入シ、之ニ加工シタル上更ニ輸出ヲ爲シツ、アツタ佛國カ此種ノ輸出ヲ禁止スルニ至ツタ。此禁止ノ目的ハ絹織物カ軍用品トシテ敵國ノ手ニ渡ルノ危險ヲ防クコトテアラウガ、一面ニハ此禁止ノ爲メ同國ノ羽二重ノ

需用力大ニ衰ヘ、其結果我國ノ羽ニ重ハ事實上佛國ニ於テ輸入制限ヲ受クルコトナツタノヲアル。聯合國ノ輸出入禁止ノ我經濟ニ及ホス直接間接ノ總テノ影響ヲ研究スレハ意外ノ事實ヲ發見スル場合カ少ナクナイテアラウ

聯合國ノ中我國ニ多大ノ鎔材機械等ヲ供給スルモノハ英國テアリ、從ツテ其輸出禁止ハ最も多ク我國ニ苦痛ヲ與ヘル。前ニモ一言セシ如ク英國ノ輸出禁止ハ中立國ニ對スルヨリモ我國ニ對シテ其適用ヲ寬大ニセル場合ノ存在スル事實ハ之ヲ認メテハナラス。又英國其他ノ聯合諸國ノ輸出禁止ニシテ前ニ述ベシ第一ノ目的ニ出ツル場合ニハ、我國ニ對スルト他ノ中立國ニ對スルトヲ問ハス一様ニ其禁止ヲ厲行スルコトニ異議ヲ挾ムノ餘地ハナイヤウテアル。併シ此場合ニ於テモ莫大ナル軍需品生産ニ忙殺セラレ、而モ一面ニハ壯丁ノ出征ニ由テ勞働ノ極度ニ不足セル聯合國自身カ軍需品ヲ生産スルヨリモ、生産力ノ餘裕ノ少ナカラザル我國ニ其原料ヲ渡シテ之ヲ生産セシムルコトカ一層有效ナラサルヤノ

問題ハ、個々ノ場合ニ付テ冷靜ニ考量スルコトカ得策テアル。世上ニ傳フルカ如ク露國ノ軍需品ノ對外注文ノ中英國カ其代價支拂ヲ引受ケテ居ル部分ニ付テハ、其生産ヲモ成ルヘク英國自身ニ於テスルノ方針ヲ探レルノ事實アリヤ否ヤハ予輩ノ知ル所テハナイガ、我國カ英國ヨリ鐵材及機械類ヲ得ントスル一大原因ハ露國ニ對シテ兵器其他ノ軍需品ヲ供給スルカ爲メテアリ、又特ニ英國ヨリ造船材料ヲ得ントスルハ我船舶ノ一大部分カ聯合諸國ノ輸送事業ニ從事セル爲メ大ニ船舶ノ不足ヲ生シタカラテアルコトハ英國ノ熟慮ヲ請ハサルヲ得ナイ。若シ今後我國ノ鎔材缺乏益甚シキニ至レハ、何等カノ方法ニ由テ日下聯合國ノ爲メニ輸送ヲ行ヒツツアル我船舶ノ一部分ヲ引上ケ來リテ船舶ノ不足ヲ補充シ、特ニ之ヲ米國ニ廻送シテ鎔材機械類ヲ積來リ、又場合ニ由テハ鎔材ノ世界的缺乏ノ今日ニ於テ米國ヨリ之ヲ得ルカ爲メニハ、戰後ニ於テモ引續キ米國ヨリ之ヲ買受クルノ條件ヲ附シテ大規模ノ取引ヲ行フコトヲ必要トスルカモ知レ

ヌ。現ニ今日我國ノ個人企業者ニシテ此ノ如キ方法ニ由リ米國ト經濟上ノ連絡ヲ取ル者ヲ生スルニ至ツタヤウテアル。若シモ今後我國ニ於テ政府ノ補助ニ由リ大規模ニ此種ノ方法ヲ採ルノ必要ヲ生スルニ至レハ、之カ爲メ聯合國ハ船舶ノ不足ヲ生シテ、一方ニハ必要ナル物資ノ輸入ニ不利ヲ生シ、他方ニハ戰爭中モ成ルヘク輸出ヲ維持シ、以テ戰爭ニ必要ナル財力ヲ充實スルト同時ニ、外國市場トノ連絡ヲ持續シテ戰後ノ發展ヲ圖ルニ付キ大ナル不利ヲ招カサルヲ得ナイ。吾人ハ此際同盟國其他ノ友國ニ對シテ不當ノ要求ヲ爲サントスルモノテハナク、如何ニスレハ相互ノ利益ヲ完フスルヲ得ヘキヤヲ考ヘタインデア

三

次ニ聯合諸國ノ奢侈品又ハ非必需品ノ輸入禁止ハ船腹ヲ調節シ、即チ軍需品及必需品ノ輸入ニ對スル船腹ヲ増加スルコトヲ目的トシテ初メラレタノテアルガ、今日ハ一般ニ此制度ニ由リ正貨ノ流出ヲ防ギ、且ツ國民ノ消費ヲ節約セシメ

テ戰費支辨ニ必要ナル財力ノ充實ヲ圖ルコトガ寧ロ重要ノ目的トナルニ至ツタ。世間傳フル所ニ由レハ露國ニ於テ戰後モ引續キ三年間輸入禁止ヲ行フヘシトノ議案カ國會ニ提出セラレタ云フコトアル。今次ノ戰爭ハ實ニ想像モ及ヒ難キ巨額ノ費用ヲ要シ、聯合諸國カ外國ヨリ仰クコトヲ要スル物資ノ量モ非常ノ大サニ達シ、其輸入超過モ驚クヘキ數ヲ示スニ至ツタ。故ニ聯合諸國民ハ極度ノ節約ヲ行フテ正貨流失ヲ防クト同時ニ、戰費ノ供給ヲ豐富ニスルノ必要アルニ反シ、實際ノ有様ヲ見レハ上層階級ハ軍需品事業ノ利益ノ増加セル爲メ、又下層階級ハ出征軍人及其家族ニ對スル手當金ノ下附ヤ勞銀ノ騰貴ノ爲メ自然ニ奢侈的消費ヲ爲スノ傾向ヲ生スルヲ免レナイ。故ニ聯合諸國カ奢侈品輸入禁止ヲ行フニ至ツタコトハ吾人モ之ヲ已ムヲ得サルノ處置ト認メルノテアル併シ此制度ニモ種々ノ缺點ノアルコトハ拒マレナイ。若シ此制度ヲ厲行シテ日常ノ衣食住ノ必要以外ノ消費ヲ大ニ抑制シ得ルナキハ、正貨流

出ノ防止ノ外ニ幾分カ民衆ノ貯蓄ヲ増加シテ戰費調達上ノ利益ヲモ生スルテアラウガ、一面ニハ此制度ノ適用セラレサル貨物ノ需用ヲ増加シテ其價格ヲ騰貴セシムルノミナラス、消費ノ強制的制限ニ由テ民衆ハ大ニ戰爭ノ苦痛ヲ感シ、其結果平和ヲ要求スルノ聲カ高マツテ來ル、戰爭ニ於テ今日マテ不利ノ地位ニ立タル聯合側ハ持久戰ヲ必要トシ、少クトモ其國民ニ持久戰ヲ厭ハサルノ覺悟ヲ生セシムルコトヲ必要トスル。然ルニ此制度ニ由ル消費ノ抑制ハ財力上持久戰ニ有利テアツテモ、反面ニハ國民ヲシテ戰爭ヲ厭ハシムルノ弊カアル。又此制度ノ實際ノ運用ヨリ云ヘハ輸入禁止品ト同種ノ貨物ヲ國內ニ於テ絕對ニ生産セシメサル方法ヲ設クルコトハ殆ント不能テアル、從ツテ輸入禁止ノ爲メ價格ノ暴騰セル奢侈品ノ一部分ハ絶大ノ保護ヲ受ケテ國內ニ生産セラルルコトナル。若シ此制度カ此ノ如キ保護的效果ヲ生スルトキハ消費ノ抑制ノ目的ハ達セラレス、加フルニ保護關稅ノ設定ノ場合ノ如ク國庫收入ヲ増加スルノ利益モ

生シナイ。從來頑強ニ自由貿易主義ヲ固執セシ英國ニ於テモ今日ハ保護思想カ盛ントナリ、其他ノ諸國ニ於テハ保護思想カ極端ニ走ラントシツツアル故、此制度ハ産業保護ノ爲メニ濫用セラルル危險カ甚タ多イ。特ニ露國ニ於テ戰後モ引續キ禁止制度ヲ行フヘシトノ説アルカ如キハ、其目的戰時ノ消費節抑及正貨保護ヨリモ寧ろ國產保護ニ重キヲ置クニアラサルヤヲ疑ハシメル。然ルニ輸入禁止ハ産業保護制度トシテハ最モ拙劣有害ナルモノテアル。何トナレハ保護ヲ必要トスル事實ハ奢侈品生産業ヨリモ寧ろ他ノ事業ニ多キノミナラス、保護ノ方法トシテ絕對ニ外國品ノ競爭ヲ禁止スルコトハ、適度ノ輸入稅ヲ設定スルニ比シテ遙カニ有害テアルコトハ多言ヲ要シナイカラテアル。假リニ此禁止制度ハ船腹調節、正貨保護及消費抑制ヲ目的トシテ行ハレ、全然保護ノ目的ヲ有シナイトシテモ、其實施ノ結果ハ或程度ニ産業保護トナルコトハ避ケ難イ。然ルニ一旦輸入禁止ト云ヘル絶大ノ保護ヲ受ケテ戰時中ニ國內ニ勃興セシ事業ハ、

戰後ニ於テモ強度ノ保護ヲ要求シ、國家モ新興事業カ破滅ニ陷ツテ經濟界ノ攪亂ヲ生スルコトヲ傍觀スルニ忍ヒナイ爲メニ其保護ヲ繼續スルニ至リ、其結果戰後聯合諸國ノ經濟上ノ接近ヲ妨クルノ危險カ甚タ大ナル。是レ予輩カ特ニ輸入禁止制度ヲ行ヒツツアル聯合諸國ノ反省ヲ請ハサルヲ得サル一點テアル

奢侈品輸入禁制度カ聯合國自身ニ如何ナル影響ヲ及ホスカノ問題ハ暫ク之ヲ舍キ、聯合國カ此制度ヲ我國ニ適用スルニ付テハ特ニ其反省ヲ促ササルヲ得サル點カ少ナクナイ。此制度ハ奢侈品ニ關スルモノト稱セラレテ居ルガ、其實ハ食料品及重要原料品以外ノモノヲハ大部分之ヲ網羅スルカ如クニ絶ヘス禁止品目ヲ増加シツツアツテ、文明國民ノ生活狀態ヨリ見レハ其主ナル部分ハ奢侈品トハ稱シ難ク、寧ロ生計上及産業上ノ必要品以外ノ工業品ヲ指スノ感カアル。然ルニ交戰中ノ聯合諸國ハ工業カ最モ發達シテハ居ルガ、目下ハ自國民ノ生活ニ必要ナル部分ヲ生産シテ多クノ餘力ヲ剩サス、從ツテ相互ノ

間ニハ軍需品以外ノ工業品ヲ輸出入スルコトモ少ナク、其結果輸入禁止制度ハ相互ヲ害スルコトモ少ナイ。又交戰國以外ノ諸國ニ付テ見ルニ、工業ノ最モ發達セル米國モ平素ヨリ其工業ハ國內需用ヲ充タスコトヲ主タル目的トシ、同國ニ隆盛ナル合同カ國內價格ヲ維持スル手段トシテ行フ所ノ投賣的輸出ヲ除ケハ、其工業品輸出ハ總輸出額ニ比シテ甚タ僅小テアル。目下同國ノ大輸出ハ食物原料品ト軍需的工業品トヲ主トシ、從ツテ聯合諸國ノ輸入禁止ニ由テ殆ント打撃ヲ蒙ラナイ。米國以外ノ中立諸大國ハ南米ノあるせんちん、ぶらじるヲ初メトシテ一般ニ農產物輸出國テアル故、是亦聯合國ノ輸入禁止ニ付テ別段ノ痛痒ヲ感シナイ。然ルニ我國ハ銅ノ外戰爭ニ要スル重大ナ原料ヲ輸出スルノ力ナク又金屬工業就中製鍊業ノ幼稚ナ爲メ、鑛材ノ供給ヲ受ケスシテ獨立ニ兵器其他ノ重要軍需品ヲ供給スルノ力モ尙ホ乏シイ。我國ノ基本工業ハ絹綿ノ織緯工業テアル爲メ、輸出ニ付テモ此種ノ生産物カ最モ重要ノ地位ヲシメ、之ニ亞

クモノハ手工的家内工業の生産物タル種々ノ雜貨類テアル。其結果聯合諸國ノ輸入禁止制度ハ彼等ノ味方トシテ努力シツアル我國ニ對シテ比較的ニ最大ノ打撃ヲ與ヘルコトナルノデア

ル
或ルホド英國ハ日英通商條約ニ於テ協定セル生地羽二重其他數種ノ日本品ニ對シテハ輸入禁止ヲ行ハナイト云フ意思ヲ表明シタガ、是ハ戰時ニ於テモ條約上ノ義務ヲ守ル當然ノ結果ト見ルコトモ出來ルノデアツテ特別ノ大讓歩トハ云ハレマイ。又同國カ協定品ニ付テ今後モ無稅輸入ヲ認メテモ、其他ノ貨物ニ付テ今日ノ如ク續々輸入禁止ヲ行フニ於テハ、我國ノ苦痛ハ別段ニ輕減セラレナイ。佛國モ通商條約ニ於テ協定セル羽二重ニ對シテ輸入禁止ヲ行ハナイガ、併シ前ニ述ヘシ如ク同國カ羽二重ノ輸出禁止ヲ行フタ結果、我國ノ羽二重ニ對スル需用ハ著シク減退スルニ至ツタ。從來我國ト歐洲先進國就中英國トノ貿易ハ輸入超過トナツテ居ル上ニ、彼ヨリ輸入スルモノハ多ク精製品ナルニ反シ、我ヨ

リ輸出スルモノハ原料半製品ヲ主トシ、全製品トシテハ少量ノ雜貨及美術工等品ニ止マルト云フ不利ノ狀態ヲ示シテ居タ。然ルニ戰爭以來歐洲ニ對シテ新ナル工業品ノ販路カ開ケ、特ニ莫大小製下着類ノ如キ新式工業品ノ輸出カ頗フル増加シ、營業者ハ其輸出カ繼續スレハ消費者ノ需用ノ狀況ニモ逆シ、又其取扱商人トノ連絡モ鞏固トナル故、戰後ニ於テモ此種ノ貨物ニ付テハ歐洲ノ販路ヲ維持スルコト難カラストシテ大ナル望ヲ懷イテ居タ。從來英國ハ此種ノ比較的
低級工業品ニ付テハ獨逸ヨリ多大ノ輸入ヲ爲シテ居タガ、戰爭以來獨逸品ノ杜絕ニ乘シテ我國品カ漸々之ニ代リツツアツタノデアアル。然ルニ今回ノ輸入禁止ハ折柄發展ニ向ヒツツアツタ對歐工業品輸出ヲ挫折セシメタ。特ニ其輸入禁止ハ英國自身ニ於テ此種ノ生産業ノ勃興ヲ促カス故、假令ハ戰後ニ至リ英國カ獨逸品ノ排斥ヲ行フコトアリトスルモ、我國ノ生産カ英國ノ市場ニ侵入スルコトハ甚タ困難トナル。又此種ノ生産ニ付テハ戰後ニ於テモ勞銀高クシテ廉價品生

產ニ不利ナル英國自身ノ生産ニ比シ我國ノ生産カ優勢ヲアルトシテモ、戰爭中英國ニ發達セシ事業ハ戰後ニモ保護稅ヲ設ケテ外品ノ競爭ヲ排斥セントスルハ殆ント避ケ難キ形勢テアル故。

此場合ニモ矢張り我國ノ生産ヲ英國ニ輸出スルコトハ甚タ困難トナルテアラウ。世人ハ聯合國ノ輸入禁止制度ヲ以テ戰時ニ於ケル一時的ノ應急策ニ過キナイモノノ如ク考ヘルヤウテアルガ、其實ハ戰後ニモ重大ナ影響ヲ及ホスモノテアル。聯合國方戰時ニ輸入禁止ヲ行フテ我對歐貿易ノ新發展ヲ抑ヘルコトハ、戰後ニモ永ク我國ニ不利ヲ及ホスコトトナルヲ免レナイ。

工業ノ進歩セル歐洲先進國ハ世界ノ最大消費國テアツテ、其輸入額ハ非常ニ巨大ナモノテアルガ、更ニ其輸入品ニ付テ見ルニ決シテ獨リ食物原料ノミテナク、多量ノ工業品ヲモ輸入シテ居ル。是レ一ハ工業ノ進歩シテ勞銀ノ騰貴セル先進國ニ於テハ、高級ノ工業品ヲ生産スルコトヲ利益トシ、低級ノ廉價品ハ工業ノ後レタル國ヨリ之ヲ輸入スルカラテアル。今後我國ノ對歐貿

易關係ヲ發展セシメントスレハ、之ニ對シテ比較的的低級ノ工業品ヲ我國ヨリ輸出スルコトモテハナラヌ。最モ茲ニ低級ト稱スルハ生活程度ノ高キ歐洲先進國民ノ立場ヨリ云フコトテアツテ、之ヲ從來我國カ支那印度等ノ後進國ニ輸出シツツアツタ工業品ニ比較スレハ寧ロ高級品テアル。我國ノ工業ハ從來東洋市場ニ對シテ輸出セシカ如キ最モ低級ノ生産ヲ以テ満足スヘキ時代テナク、將來ハ一層高級生産ニ向フノ必要アルコトハ予等ノ兼テヨリ主張シタ所テアツタガ、今回ノ戰爭ニ由リ我工業ハ高級生産ニ進ムノ機會ヲ與ヘラレ、特ニ購買力ノ甚大ナル歐洲先進國ニ對シテモ此種ノ生産ヲ輸出スルノ望ヲ生セシメタ。然ルニ聯合諸國ノ輸入禁止ハ我工業ノ此方向ニ於ケル發達ヲ抑ヘ、特ニ我對歐貿易狀態ノ改善ヲ妨ケルコトトナツタ。此點ヨリ見ルモ聯合國ノ輸入禁止ニ由ル最大ノ被害者ハ彼等ノ味方タル我國テアルト云ハナラヌ。勿論聯合諸國ハ何等我國ヲ害スルノ意思ナク、單ニ國家存亡ノ危機ニ處スルノ必要ヨリ此制度

ヲ行フタノテアルガ、彼等カ我國ニ對シテ此制度ヲ適用スルニ付テ考フヘキコトハ、之ニ由テ獨リ我國ニ重大ノ損害ヲ蒙ムラシムルノミテナク、結局ハ彼等自身ニモ少ナカラサル損害ヲ生スルニ至ル危險ノアルコトアル

前ニ述ヘシ如ク此制度ノ主ナル目的ハ船腹ノ調節、正貨準備ノ保護及消費ノ節約テアルガ、先ツ船腹ノ調節ニ付テ聯合諸國ハ我國ノ船舶力大ニ彼等ノ爲メニ輸送ヲ行ヒツツアルノ事實ヲ忘レテハナラヌ。若シ彼等カ輸入禁止ヲ履行シテ我對歐輸出ヲ減退セシメルナラハ、我國ハ歐洲以外ノ市場ニ發展スルノ策ヲ講シ、之カ爲メニハ聯合國ノ輸送ニ從事シツツアル我船舶ノ一部ヲ引上ケ來ルノ必要ヲ生スルカモ知レヌ。此場合ニハ聯合國ノ船腹調節ノ目的ハ失敗ニ歸スルテアラウ。又正貨準備ノ保護及消費節約ノ目的ニ付テ云フモ、我國カ英佛債ヲ償還シ又露國藏券ヲ引受ケテ聯合國ノ正貨保護及其財力充實ニ援助ヲ與ヘタノハ、我國ノ輸出力大ニ増進シタ爲メテアルガ、若シ聯合國カ輸入禁止ニ由テ我國

ノ輸出ヲ害スルナラハ、我國ハ今後彼等ニ對シテ如上ノ援助ヲ爲スコトヲ得ナイヤウニナルテアラウ。加之從來我國ノ所有ニ屬スル正貨ニシテ國內ニ保有セル高ハ少ナク、其大ナル部分ハ之ヲ倫敦ニ置クノ方針ヲ採ツタ。所謂在外正貨策ナルモノカ是レテアル。最モ昨年來在外正貨ノ一部分ヲ國內ニ持來リ、又米國ニ其一部分ヲ移シタコトハ事實テアル。併シ我國モ獨逸ヲ敵トシテ戰ヒ、我海軍ハ今尙ホ聯合國ノ爲メニ東西ニ奔走シツツアルノミナラス、東洋方面カ多事トナツテ其保安ノ責任ハ全然我國ノ負擔トナツテ居ル故、國內ノ正貨ヲ充實スルコトハ當然テアツタ又聯合國ノ爲メニモ利益テアル。又戰爭以來英佛獨等ニ在リシ我外債ニシテ米國市場ニ移ルモノカ大ニ増加シ、加フルニ米國ニ對スル貿易關係モ大ニ増加シタ故、我在外正貨ノ一部ヲ米國ニ移スコトモ已ムヲ得ナイ處置テアル。而モ尙ホ英國ニ貸テアル我正貨ハ之カ爲メ金額ニ於テ何等減少ヲ爲シタノテハナク、依然トシテ甚タ巨額テアル。英國ハ我カ最大債權者

テアル故、我正貨ノ一部分ヲ倫敦ニ置クコトハ
外債元利拂ニ付テ我國ノ利益ヲアルガ、併シ今
日マテノ如ク多大ノ金額ヲ倫敦ニ置クコトハ決
シテ必要トハ云ハレナイ。是レ兼テヨリ在外正
貨策ニ付テ議論ノ起ツテ居ル所以ノ一テアル
ガ、兎モ角英國ハ此政策カ大ニ同國ノ正貨準備
ヲ擁護シ、且ツ其金融上ノ地位ヲ鞏固ナラシメ
タコトヲ忘レテハナラス。目下英國ハ聯合諸國
ニ對シテ財政上ノ援助ヲ爲シ、特ニ其對外決濟
ヲ引受クルノ地位ニ立ツテ居ル故、我國カ正貨
ヲ倫敦ニ置クト之ヲ引キ出シテ他ニ移ストハ、
獨リ英國ノ利害ニ關スルノミナラズ、聯合國全
體ノ利害ニモ少ナカラサル關係ヲ有スル事柄テ
アル。然ルニ今後我輸出カ益増加スレハ倫敦ニ
於ケル在外正貨モ自カラ之ニ伴フテ増加スルニ
反シ、若シ聯合諸國カ輸入禁止ヲ勵行シテ我輸
出ノ狀態ヲ不良ニ陷ラシメルナラハ、倫敦ニ於
ケル在外正貨ハ獨リ増加シ得サルノミナラス、
我貿易狀態ニシテ不良トナレハ萬一ニ處スルノ
必要上ヨリ、倫敦ノ正貨ヲ引キ出シテ之ヲ國內

ニ持來リ又ハ之ヲ他ノ場所ニ移スコトヲ要スル
ニ至ルカモ知レヌ。要スルニ聯合諸國カ我國ニ
對シテ輸入禁止ヲ勵行スルコトハ、此禁止制度
ノ直接ノ目的ヨリ見テモ不利ヲ生スル點カ少ナ
クナイ。況ンヤ適當ノ猶豫期間ヲモ設ケスシテ
此制度ヲ實行シ、之カ爲メ我商工業者ノ取引契
約ヨリ生スル既得權ヲ蹂躪シ、又聯合國以外ニ
需用ヲ見出し難キ生産ヲ爲セシ者ニ重大ノ損害
ヲ加ヘ、延ヒテ多數勞働者ヲシテ失業ノ苦痛ニ
陷ラシムルカ如キハ、我國民ノ聯合國ニ對スル
今日マテノ同情ヲ冷却セシムルノ大害カアル。
吾々ハ國家存亡ノ危機ニ陷レル聯合國ニ對シ
決シテ無理ナ要求ヲ提出シテハナラヌガ、一面
ニハ聯合諸國ニ對シ彼我ノ利益ヲ完フスルノ方
法ヲ考量スルコトヲ希望セサルヲ得ナイ。特ニ
聯合諸國ニ於テハ戰爭ニ伴フテ國產保護ノ思想
カ極端ニ走り、之カ爲メ輸出入禁止カ濫用セラ
ルルノ危險ニ陷ツテ居ルヤウテアルカラ、此際
吾々ハ之ニ對シテ冷靜ナル利害ノ考量ヲ求メル
ノ必要カアル